

■クラインガルテン整備事業

【農林水産業費】(継続) 4,121万円
(農林水産環境部 農政課)

蒲井・旭地域振興計画に基づき、久美浜町蒲井地区に農園10区画、宿泊棟10棟、農機具倉庫1棟、駐車場1か所などの「クラインガルテン」を整備します。これにより、蒲井・旭地区において、都市農村交流を推進し、農業体験や漁業体験を通じて農漁村に対する理解を深めるとともに、農業の振興と地域の活性化を図ります。また、滞在型の観光を推進し、質の高い特色のある交流を展開します。



建設が進むクラインガルテン

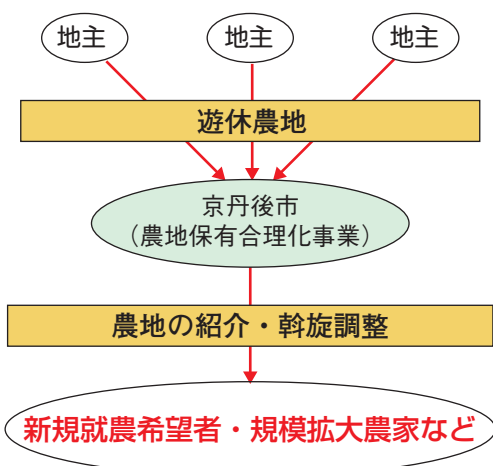
クラインガルテン

ドイツ語で「小さな庭」を意味する滞在型農園です。

■新規就農等拡大のための遊休農地利活用推進事業

【農林水産業費】(継続) 239万円
(農林水産環境部 農政課)

新規就農者の育成および農家の経営規模拡大に向け、遊休農地などの紹介・斡旋調整を実施し、遊休農地などの利活用および解消に向けた取り組みを行います。



新規就農者を育成

■新規就農者育成支援事業

【農林水産業費】(新規) 60万円
(農林水産環境部 農政課)

市内外からの新規就農希望者を積極的に受け入れていくため、集落などで遊休農地・空き家の調査、新規就農相談に応じる集落支援員の育成、農業体験、農業研修、耕作放棄地の再生などを行う集落などの受入体制整備費用の一部を助成します。

新規就農者受入地域支援事業のイメージ

集落の悩み

- 過疎化・高齢化で農業後継者がなく農地が荒廃化
- 空き家、空き農地などが多い
- 集落の将来が不安
- 農作物の鳥獣被害が拡大
- 地域の共同作業(草刈りや農道整備)ができない

地域外から新規就農者を受け入れて地域を再生したい

新規就農者受入地域支援事業により
集落の受入準備活動を支援

新規就農者の受入体制整備
耕作放棄地の再生・有効活用
都市農村交流の拡大、移住・定住の促進

〈活動例〉

空き家・空き農地の調査、耕作放棄地の解消、新規就農相談員の育成、農業体験、農業研修、先進地視察など

■水稻有機栽培試験研究事業

【農林水産業費】(継続) 39万円
(農林水産環境部 農政課)

久美浜町内に実証水田を設け、農業や化学肥料を一切使用しない米づくりを行い、販売上の強みや生産上の課題について検証しています。

3か年事業の2年目となる平成22年度は、昨年度の実績も踏まえ、より多くのかたに参加していただき、京都嵐山吉兆の徳岡総料理長や福井県の有機栽培農家の支援を受けながら、土づくり、除草対策、食味技術の向上をめざし、引き続き関係機関とともに、美味しい米の基準、栽培方法の指針づくりを進めます。



実証水田の除草作業

営農拠点施設の建設

■農業関連施設整備事業

【農林水産業費】(新規) 2,500万円
(農林水産環境部 農政課)

大宮町森本地区で農業生産法人等育成緊急整備事業により施工中の大区画水田の営農に向け、農業生産法人等の活動拠点となる共同作業場を整備します。



共同作業場(大宮町延利)

■小規模農業基盤整備事業

【農林水産業費】(継続) 3,810万円
(農林水産環境部 農林整備課)

老朽化などにより機能不全となっている農業用施設(用水路など)を改良・改修し、機能回復することで、農業の生産性向上と経営安定を図ります。



整備された用水路(峰山町矢田)

丹後町尾和水路を改修

■特定農業用管路等特別対策事業

【農林水産業費】(新規) 3,109万円
(農林水産環境部 農林整備課)

丹後町尾和水路(石綿管による用水管パイプライン)は設置後50年が経過し、施設の老朽化が著しく、維持管理に困窮しているため、改修工事を実施し、安定した農業用水の確保および維持管理の省力化を図り、農地の保全と農業生産の向上をめざします。



石綿管による用水管パイプラインの破損

■農地・水・環境保全向上対策事業

【農林水産業費】(継続) 3,104万円
(農林水産環境部 環境バイオマス推進課)

農地や農業用水、農村環境を守るために、以下の取り組みに対し、国・府・市が一体的に支援します。(平成19年度～23年度)

- 地域ぐるみでの共同活動および農道・ため池などの農業用施設長寿命化活動
 - 農家ぐるみでの環境負荷低減に配慮した営農活動、および化学肥料・化学合成農薬5割低減などの先進的営農活動
- ※平成21年度は95組織(うち、先進的営農支援は5組織)が取り組まれています。



環境学習(棚田のはたらき)

■経営体育成基盤整備事業

【農林水産業費】(継続) 1,005万円
(農林水産環境部 農林整備課)

大宮町森本と三重地内において、ほ場の標準的な面積を1畝以上の大区画とするほ場整備事業を行っています。森本集落に農業生産法人を設立して、大区画のほ場整備による大型機械化、農地の集積による営農労力の節減を図るとともに、農作物の生産性や付加価値を高め、高収益の農業経営をめざします。(平成20年度～平成25年度)



ほ場整備(大宮町森本)

有害鳥獣対策を強化

■有害鳥獣捕獲事業

【農林水産業費】(継続) 2,669万円
(農林水産環境部 農林整備課)

年々拡大傾向にある鳥獣被害への対策として、猪や鹿などの有害鳥獣捕獲を猟友会へ委託します。また、宮津以北の2市2町の猟友会が共同して行う広域捕獲も引き続き実施します。



猟友会のみなさん